

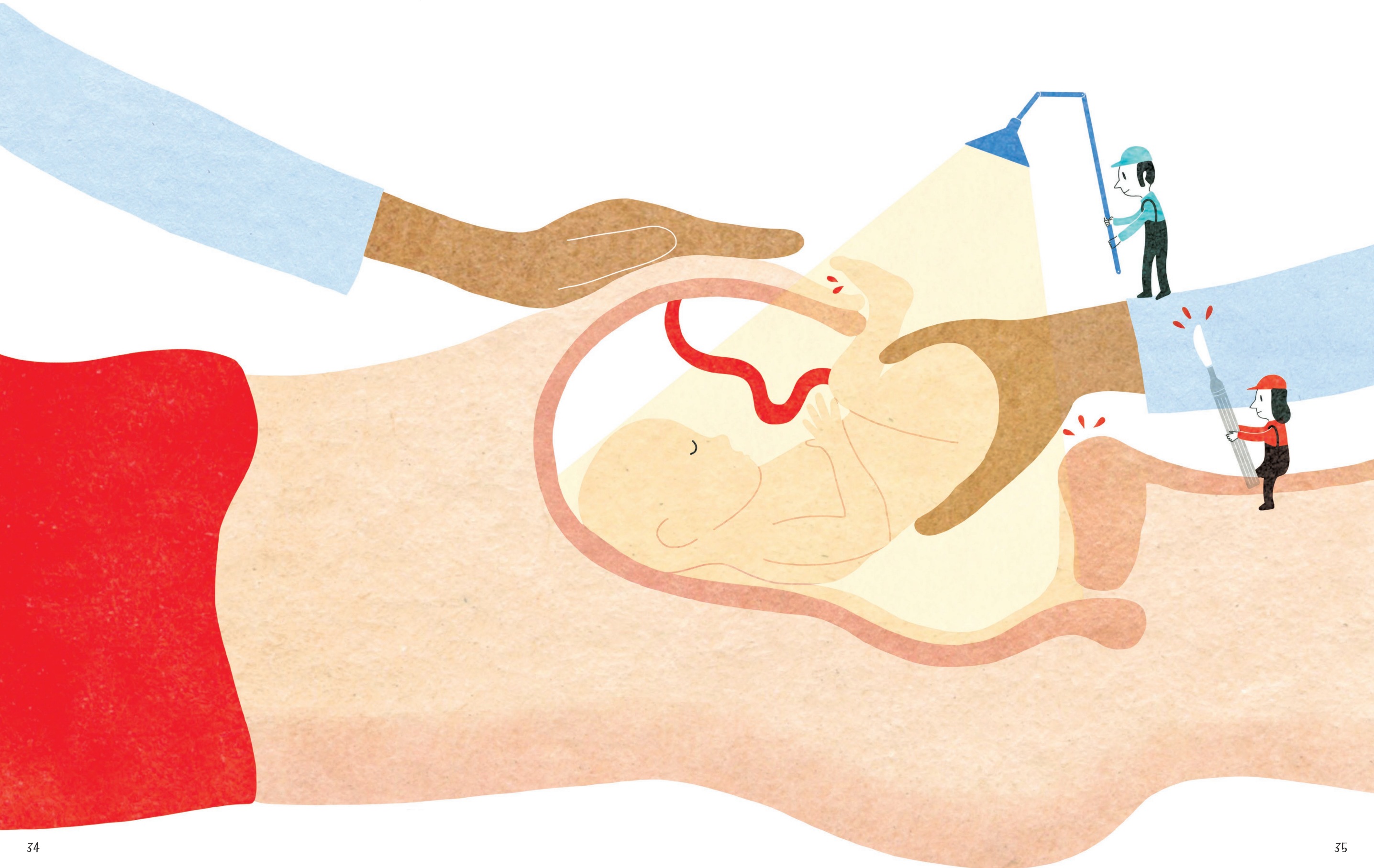
いりぐち  
入口がひろがったら、ママはぐっとおなかにちからをこめる。  
なんど なんど  
何度も何度もふんばって……ようやく、赤ちゃんの頭がそとにでてくる！

そのあと、からだもつづいてでてくる。  
あか  
赤ちゃんはついに子宮をはなれ、  
いしや  
お医者さんや助産師さんが臍帯を切る。  
いっしょう  
そのときのあとは、一生ずっとおなかにのこる。  
それがきみのおなかにもある、おへそだ。



出産しゅっさんはあっというまにおわることもあれば、何時間なんじかんもかかることもある。  
もし赤ちゃんあかがおおきくなりすぎて、子宮しきゅうからでられなかったら？  
足やおしりから先さきにうまれてこようとしたら？  
ママや赤ちゃんあかに何か危険なにかいけんが見つかったらどうすればいいんだろう？

そんなときは、お医者さんいしやが  
ママのおなかを手術しゅじゅつでひらいて、赤ちゃんあかをとりますんだ。



おぎゃー！

赤ちゃんは肺いっばいに空気をすいこみ、産声をあげる。

よかった！ ぶじにうまれたよ。

赤ちゃんはすぐにおっぱいをほしがる。

もちろん、ほにゅうびんからミルクをあげることもできる。

ほにゅうびんなら、パパやほかのひともミルクをあげられるよ。

ママのおっぱいじゃなくてもかまわない。

だいじなのは、愛情をたっぷりもらうことなんだ。

だって、そのたっぷりの愛情で、

赤ちゃんはおおきくそだっていくのだから。

